

令和8年度 生涯研修コース（ハンズオンセミナー）

日本大学松戸歯学部・松戸歯学部同窓会 共催

臼歯部抜歯即時埋入 成功の分岐点

ー 初期固定を制する診断・抜歯・埋入ポジション実習ー

従来のインプラント埋入手法では、問題のある歯を抜歯し、抜歯窩が治癒するまで2～4ヶ月待ってからインプラントを埋入し、周囲の骨とインプラントが結合するまで3～6ヶ月待つ。この処置の後、インプラントを露出させ、補綴用アバットメントを装着するための二次手術をしなければなりません。最終補綴治療を考慮すると、患者は失った歯を補うために最大8～12ヶ月待つ必要があります。このような従来法の問題点から、抜歯後すぐにインプラントを埋入し、治療期間を大幅に短縮する戦略が一般的になって来ました。特に臼歯部では、ソケット形態と隔壁骨の状態が即時埋入の予知性を左右し、術前診断と埋入ポジション設計が重要です。

今回は、模型上で、診断 → 抜歯 → 初期固定の取り方 → 埋入ポジション確認 → PVR作製までを一連で行う処置を会得します。

【講師】

林 揚春 日本大学客員教授
(所属学会) 日本口腔インプラント学会
日本顎咬合学会

北川 剛至 日本大学准教授
(所属学会) 日本口腔インプラント学会
日本補綴歯科学会

【講義と実習内容】

1. 大臼歯部の埋入位置による分類
2. 大臼歯部の抜歯後骨吸収
3. 1次安定と2次安定
4. ワイドショートインプラントの有効性
5. 上下顎臼歯の抜歯即時埋入 とPVR作製
6. Q&A

申し込みはこちらから



- 日時: 令和8年11月1日(日) 9:30～16:00
- 開催方法: 日本大学松戸歯学部【対面】
- 定員: 15名(最少催行人数5名)
- 受講料: 会員90,000円／非会員110,000円
- 申込締切日: 令和8年10月8日(金)

【申込方法】

日本大学松戸歯学部同窓会ホームページからお申込みください。

<https://bit.ly/4yiDma0>

【問合せ先】

日本大学松戸歯学部庶務課 TEL: 047-360-9201 E-mail: mas.shomu01@nihon-u.ac.jp